

2020年度  
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園  
高崎歯科衛生専門学校



## 1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“Learning Together Thinking Together”を掲げ、教職員一同、医療、保健、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### (1) 教育活動

新型コロナウイルスの影響があり、予定する教育活動を大幅に見直さざるを得ない状況となった。当初の目標や計画から変更しているも、教育の質、学生サービスの向上の為、次の事項について重点的に教育活動を行った。

◇授業・実習内容の充実

- ・人間性教育・社会性教育の実践
- ・入学前教育プログラム・初年次教育の充実
- ・教育目標の明確化とキャリア教育
- ・国家試験・検定対策

◇教員研修の実施

◇退学防止対策

◇教育設備・備品の更新と拡充

### (2) 学生募集活動

少子化、医療福祉系進学希望者の減少、高校新卒者の就職率上昇等の影響から年々厳しさを増しており、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

- ・学園ホームページの運用及び改訂
- ・学園パンフレット等の作成
- ・進学情報サイトの活用
- ・高校ガイダンス、会場ガイダンスへの参加
- ・オープンキャンパスの開催・内容の充実
- ・Web広告・交通広告・テレビCMの活用
- ・SNSを活用した広報活動の実施
- ・オンラインオープンキャンパスの実施
- ・AO入試の実施

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

#### ① 課題

学校の理念、教育目標等はホームページに公開されているが、学生、保護者等への周知・理解という点においては十分ではない。進歩する医療福祉分野において、時代の変化に応じ多様化する歯科業界のニーズに対応できる人材を育成しなければならない。

#### ② 今後の改善方策

学生や保護者等に対し、学校の教育理念、目標、将来の計画などを分かりやすく情報提供できる機会を設ける。資格取得だけでなく、本校の特徴である人間性教育を理解してもらうように努める。

#### ③ 特記事項

特になし。

## (2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

### ① 課題

教育活動についてホームページやパンフレットでの情報公開だけでなく、具体的な取り組みや学生の様子等を発信することで、更に認知度を向上させる必要がある。

### ② 今後の改善方策

広く一般市民の方に学校を認知してもらえるように、日頃の授業や実習、学校生活の様子等について頻度高くSNSで発信していく。

### ③ 特記事項

特になし。

### (3). 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

① 課題

実践的な職業教育として歯科医院等での実習機会を設けているが、新型コロナウイルスの影響から一部を中止としている。同様に教員研修についても機会が減少している。

② 今後の改善方策

今後も実習の延期や中止を想定しながら、代替授業について学生が自身のキャリアを想像できるように現役の歯科衛生士等との関わりを増やしていきたい。

③ 特記事項

特になし。

#### (4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

##### ① 課題

国家試験合格率、学生の退学率について教職員全員が拘って取り組んでおり、学生一人一人を丁寧にフォローしているも1年次において退学者が出ている。

##### ② 今後の改善方策

学生の個別事情こそあるが、入学前イメージとのギャップが少なくなるように入試広報部と連携して、入学前時点からギャップを埋めるよう情報提供をしていきたい。

##### ③ 特記事項

特になし。

## (5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

### ① 課題

教職員数に変わりはないが、新型コロナウイルスの影響から今まで以上に学生へのフォローが必要になっている。

### ② 今後の改善方策

新型コロナウイルスを理由に経済面、学習面において不安定となった学生の対応には細心の注意を払っているが、この状況が長期化することを想定した細かな仕組みづくりを学校ごとに確立していきたい。

### ③ 特記事項

受験生（新入生）を対象にした学費減免措置について学内外から評価をいただいた。在校生についても高等教育の修学支援制度の周知や経済面に併せた前向きに学習へと取り組めるような指導を実施していきたい。



## (6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 <b>3</b> 2    1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4    3 <b>2</b> 1
・防災に対する体制は整備されているか	<b>4</b> 3    2    1

### ① 課題

海外研修はじめ学内外のイベントを実施することができなかった。

### ② 今後の改善方策

新型コロナウイルスの影響からイベント機会は減少しているが、オンライン等を活用した新たなイベントの企画を通じて、教育の質、学生サービスの向上に繋げたい。

### ③ 特記事項

特になし。

### (7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

#### ① 課題

新型コロナウイルスの影響から高校訪問や高校ガイダンスの機会が減少している為、オンラインやSNSを活用した広報戦略について再考する必要がある。

#### ② 今後の改善方策

SNSの運用を開始しているが、高校生の興味に合ったコンテンツの企画と頻度の高い更新を両立しながら進めていきたい。

#### ③ 特記事項

前橋医療福祉専門学校から分離する形で独自のホームページ、パンフレットを作成し、評価をいただいている。またSNS運用も開始しており多角的な広報活動を実施する。

## (8). 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ① 課題

安定した財務内容となっているが、少子化等で募集状況が厳しくなるため、新規事業も含め、中長期的な経営戦略を策定する必要がある。

### ② 今後の改善方策

社会人や留学生を募集対象者として捉え、入学者数の増加を図る。

### ③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

自己評価、学校関係者評価の実施、公表をしているが、学外だけではなく学内においても評価結果の理解、課題の認識、対策の立案を徹底していく必要がある。

② 今後の改善方策

自己評価、学校関係者評価から生じた課題への対策を各学校、部署単位ではなく学校全体で進捗管理ができる体制を構築していきたい。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

新型コロナウイルスの影響から学外でのボランティア活動を奨励、支援できていない。

② 今後の改善方策

実際のボランティア活動は難しい状況ではあるも、学生には授業等を通じてボランティアの意義を伝えていく。また状況の改善を見ながら慎重に活動を奨励、支援していきたい。

③ 特記事項

特になし。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	4 3 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span> 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span> 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	<del>4 3 2 1</del>

① 課題

留学生支援を目的とした職員を新たに雇用したことで、受入れから日常生活の支援体制が整備された。新型コロナウイルスの影響から留学生数は減少しており、現環境に応じた戦略立案を実施していかなければならない。

② 今後の改善方策

日本語学校や専門学校の訪問等を行いながら、既に海外から日本に入国している留学生を対象にした広報活動を展開していく予定。

③ 特記事項

特になし。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度も文部科学省から提示されている学校評価ガイドラインに沿い、自己点検・自己評価を行った。学校運営を教育的、募集的、財務的等、様々な観点から見ることができた。

全ての項目において少なからず新型コロナウイルスによる影響を受けており、この影響が長期化することを想定した目標計画の立案、また柔軟に変化へと対応できる仕組みづくりが学校には求められている。

総合的な評価としては、当初予定していた計画、方策を見直さざるを得なかったことや新型コロナウイルスの影響から緊急性の高い課題が生じたこともあり不安定な年度となったと言える。一方で有事だからこそ浮き彫りとなった課題もある為、今年度の自己点検・自己評価結果について、優先順位を付けながら学校全体で取り組んでいきたい。

これからの専門学校は、18歳人口が減少していく中で、公益法人としての責任を果たすと共に特徴ある学校づくりをしていく必要がある。その為の効果的な取り組みを生み出すきっかけとして学校評価を捉え、更に成長し安定した学校づくりを行っていくべきである。

今後も引き続きガイドラインを参考にしながら、それぞれの分野や学校に適した自己点検・自己評価を行っていくことで、適正な学校運営を行っていききたい。

以上